

あなたの「学び」が 日本語を学びたい人の 力になる。



私たちの日常生活の中で、「生活者としての外国人」と
触れ合う機会が、飛躍的に多くなりつつあります。
しかし、彼らの暮らしに欠かせない日本語をサポートできる
スキルをもった人材が足りていません。
その認定は、大学の指定単位を取得し、
申請することで受けられると知っているでしょうか？
日本語を身につけたいと頑張っている外国人に、
あなたが学んだことをいかして、
あなたの日本語で支援してもらえませんか。
社会に出てからも、さまざまな場面で
あなたの学びがきっと誰かの力になるはずです。

多文化共生社会に向けた地域づくりの力になる



日本語学習支援者 養成プログラム

対象：筑波大学に在学する全学群生 必要単位：8単位以上

日本語教育のプロフェッショナルをめざして



日本語教師 養成プログラム

対象：筑波大学に在学する全学群生 必要単位：26単位以上

「修了証プログラム」とは、所定の単位を履修することで、卒業時に授与される学士号とは別に、特定の能力やスキルを保证する修了証が発行される仕組みです。

本プログラムは日本語教育人材養成に特化しており、国内外での日本語支援に関わる多様な社会的ニーズに対応できる内容です。いま、教育現場や官公庁、一般企業などで、外国人との橋渡し能力を保证するものとして期待が高まっています。



多文化共生社会に向けた地域づくりの力になる

日本語学習支援者養成プログラム

<http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/cp/>



「日本語学習支援者」とは、未成年を含む日本語学習者の学習支援を行える地域住民を指します。小中学校・高等学校等の児童生徒教育に携わる教員、生活者としての外国人を支える地域のボランティア、また、専門の日本語教師とともに、学習者の日本語学習を支援するサポーター等として、日本語教育のこく基礎的な資質・能力を有していることを保証するものです。

必要単位 計8単位以上（右表参照）

活動例 外国人児童生徒の授業サポート（教科や日本語の学習支援）
企業や地域における日本語の学習支援
自治体・官公庁での生活情報の提供支援 など

科目群	科目名	必要単位数
学術科目群	日本語教育文法論、日本語技能指導論、第二言語習得論、外国人児童生徒教育論、異文化間心理学、日本語教育心理学	4単位
教職科目群	【中学校・高等学校教諭一種】 〔教育の基礎的理解に関する科目〕 〔道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目〕 【小学校教諭一種】 〔教育の基礎的理解に関する科目〕 〔道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目〕	4単位

修了証を取得するには、2つの科目群から各4単位以上、計8単位以上を取得する必要があります。（2018年度以前の入学者は、HPにて科目一覧を確認してください）



日本語教育のプロフェッショナルをめざして

日本語教師養成プログラム

<http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/cp2/>



本プログラムはより専門的に日本語教師を目指すものに求められる資質、能力を保证するものです。

日本語教員を養成することに特化した内容で、第二言語として日本語を教えるための体系的な知識・技能を身につけ、国内外での日本語教育に関わる多様な社会的ニーズに対応できるプログラムとなっています。

必要単位 計26単位以上（HP参照）

進路例 日本語教師
学校教員
企業、官公庁の多文化共生・日本語教育に関わる業務担当
海外における日本語教育機関
日系企業等での日本語指導やアドバイザー など

取得までの
ながれ

指定単位を
取得

HPから
申請書を
ダウンロード

成績
証明書を
取得

申請書と
成績証明書を
提出

審議・
承認

修了証
発行

対象者

筑波大学に在籍する全学群生（大学院生、もしくは学外者が申請を希望する場合は、筑波大学の科目等履修生制度に則り履修したうえで申請）

申請受付期日

①毎年9月末締切（10月下旬修了証発行）／②毎年2月末締切（3月下旬修了証発行）

提出先

日本語・日本文化学類長室（第2エリア2C206室）

問い合わせ

日本語・日本文化学類教員 松崎寛 matsuzaki.hiroshi.fp@u.tsukuba.ac.jp